

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート										令和 2 年度事後評価・決算		所管課		子育て支援課			担当班	子育て支援班	
事務事業名		コード	16400	児童遊園維持管理費		予算科目	会計		款		項		目		事業種別	☒ 主な事業			
施策体系	基本施策	19	公園の充実		根拠法令	旭市児童遊園設置条例										☐ 国土強靱化地域計画			
	施策の展開	38	公園の維持管理		戦略事業	179	公園維持管理					☐ 新市建設計画							
	施策の展開				戦略事業							☐ 定住自立圏構想							
						戦略事業							☐ 主要事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	児童の健康を増進し、情操をゆたかにすることを目的に、児童に遊び場を提供し、市内28ヶ所に児童公園を設置、維持管理を行っている。		公園の見まわりや草刈りなどの日常的な管理は地元区に委託し、遊具の修繕は市が行っている。		
	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
	児童遊園に設置当事、児童の健全な遊び場が減少していた。児童に遊びを与え、その健康を増進し、情操をゆたかにするため、児童遊園を設置した。		(H19) (H24) (H28) (R2) 【設置か所】 45か所 42か所 36か所 27か所 【その他】 1か所 1か所 1か所 1か所 現在では子どもの数が減り、外で遊ぶ子どもも減ってきている。		平成25年度児童遊園設置及び管理についてのアンケートを設置区の区長に対して実施した。(結果)多くの児童遊園は存続を希望したが、平成26年度以降設置区の区長要望により、15か所の児童遊園を廃止するに至った。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.需用費	98	消耗品費、光熱水費、修繕料
2.委託料	1,183	児童遊園維持管理委託料
3.工事請負費	968	児童遊園施設等改修工事、解体・撤去工事
4.原材料費	278	原材料費
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

		単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
事業費	1. 需用費	千円	247	1,119	374	98	377
	2. 委託料	千円	1,259	1,198	1,166	1,183	1,144
	3. 工事請負費	千円	2,651	3,153	1,355	968	1,265
	4. 原材料費	千円	34	10	16	278	30
	事業費計 (A)	千円	4,191	5,480	2,911	2,527	2,816
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	4,191	5,480	2,911	2,527	2,816

前年度増減理由	撤去遊具の減少と臨時での原材料の購入
---------	--------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 15 日 = 延べ 30 人

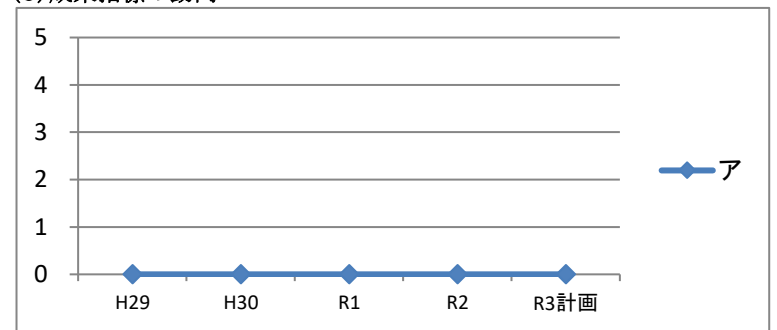
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 児童遊園維持管理委託料を支給 中央児童遊園維持管理委託料を支給 等	ア 児童遊園管理の委託	か所	33	27	25	25	26
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 遊具等の修繕・撤去箇所数(うち、撤去箇所数)	か所	17(14)	15(11)	11(7)	5(5)	6(6)
	対象意図 ・児童遊園の利用者 ・利用者が安全に利用できる。 対象意図 ・児童遊園 ・適切に管理できている。	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
		ア 公園管理に対する苦情件数(苦情がないことが、安全に管理できていると考える。)	件	0	0	0	0	0
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果					
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位1/3	中位1/3	上位1/3	
施策貢献度	大きい				成果優先度 評価結果	①		
	普通		⑤			②		
	小さい					③		
				④⑤		(4)		
				⑥				
				⑦⑧				
				⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	個別施設計画に基づき、施設状況及び利用度を把握したうえで、区長と協議をし存廃(修理等を含む)を決定していく。 個別施設計画に基づき、施設状況及び利用度を把握したうえで、区長と協議をし存廃(修理等を含む)を決定していく。